



友 愛

鴨池小学校
学校だより
令和3年10月発行

全国学力・学習状況調査報告編

令和3年5月に行われました「令和3年度全国学力・学習状況調査(対象6年)」の結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

この調査は、5年生までの学習内容をもとに、定着度の把握や指導法改善をねらいにしています。児童質問紙は、子どもたちの生活や学習の様子、考え方について調査しています。これらの結果をもとに、今後さらに全学年の子どもたちの学力向上のために学校と家庭が一体となった取組を推進していきたいと思っておりますので、御理解・御協力のほどよろしくお願ひします。

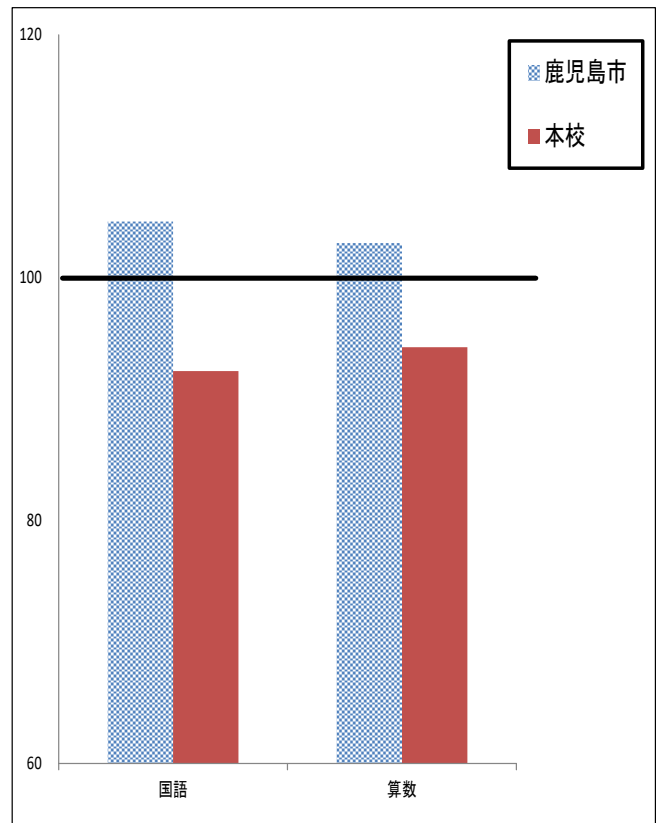
＜教科に関する結果概要＞

本校の調査結果を平均正答率で表すと、右の棒グラフのとおりです。

国語・算数ともに全国の平均を下回っています。また、市の平均も下回る結果となっています。

小問ごとに見ていくと理解できているところもたくさんありますが、記述式の問題の正答率が低い状況です。

【全国の平均正答率を100としたときの数値】



＜国語＞

国語では、「話すこと・聞くこと」については正答率が高く、「読むこと」「書くこと」については正答率が低くなっていました。

記述式の問題では無解答の問題もいくつかありました。あきらめずに最後までしっかり問題に取り組む姿勢を育てていきます。

今後は、文章を読む際に、中心となる語や文章を意識させたり、文章を要約しまとめたりする機会を学習活動や家庭学習の中に取り入れていきます。

＜算数＞

算数では、「測定」「データの活用」については正答率が高くなっていました。「数と計算」「図形」「変化と関係」については正答率が低くなっていました。ただ単に答えを求めめるだけでなく、図形と式を関連付けたり、求め方について話し合ったりし、自分の考えを伝える活動を通して、自分の考えを筋道立てて表現できる力をつけていきます。

＜全体的に＞

記述式の問題に対して自分の考えを明確にして書くことについて正答率が低かったです。授業で、自分の考え、理由、事実等を分けて文章を書く活動を取り入れていきます。

また、毎日の漢字練習と日記を活用して書く力の向上や音読カードを利用して読む力の向上を図ります。四則演算では速く正確にできるようにするために反復練習を積み重ねていきます。